

# 大学院 教育評価アンケート結果

## 2020年度 修士課程【看護学専攻】

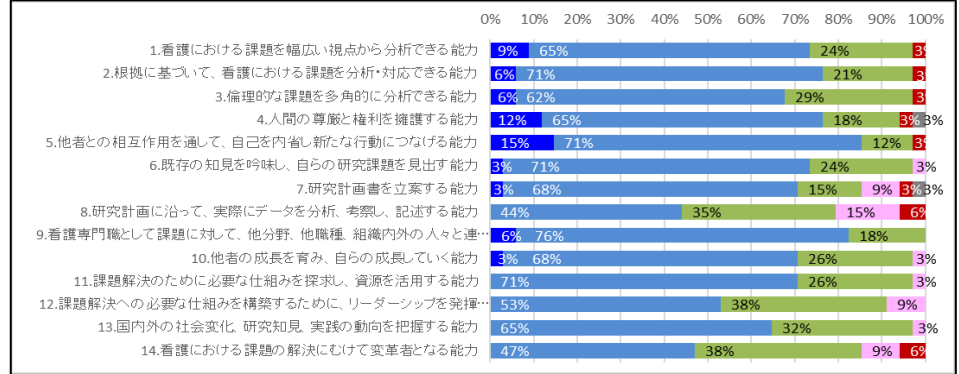
2020年度の修士課程(看護学専攻)の在學生(1~2年生)を対象とした教育評価アンケートは、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を受け、Web調査に切り替えました。以下、在學生の調査結果についてご報告いたします。

■ 強く思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない ■ 無回答

### I. 現時点であなたが以下の項目を身につけているかについて回答してください

修士課程(看護学専攻)において現時点で身につけている能力として、在學生の8割以上が「強く思う」「そう思う」と回答した項目は、14項目のうち2項目でした。

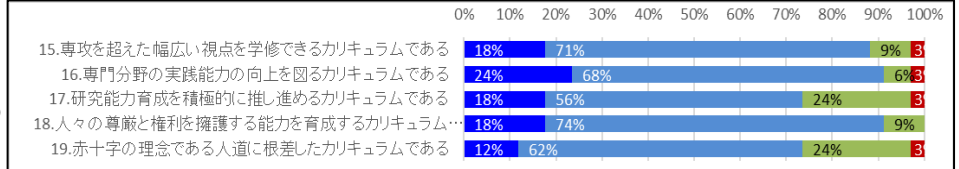
そのうち「他者との相互作用を通じて、自己を内省し新たな行動につなげる能力」(86%)は、「DP3. 他者との相互作用を通じて、自己を内省し、新たな行動につなげる能力」に対応しています。また、「看護専門職として課題に対して、他分野、他職種、組織内外の人々と連携する能力」(82%)は、「DP6. 多職種と協働し、必要に応じて専門職としてのリーダーシップを発揮する能力」に対応しています。



### II. 本学大学院(修士課程)のカリキュラムに対するあなたの考えを回答してください

修士課程(看護学専攻)のカリキュラムの受け止めについて、8割以上の在學生が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、5項目のうち3項目でした。

専門分野の実践能力の向上を図り、人々の尊厳と権利を擁護する能力を育成し、専攻を超えた幅広い視点を学修できるカリキュラムであると評価されています。



### III. 大学院における以下の内容に関する満足度を回答してください

本学大学院への満足度として、修士課程(看護学専攻)の在學生の8割以上が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、26項目のうち11項目でした。

大学院全体に満足しているとの評価がなされました。具体的には、視野を広げて新しい発見をする授業や主体的に学べる授業が多いことが評価されています。また、学生を尊重する教員や、教育や研究、実践に対して熱意を持った教員、学問分野の専門家として優れた教員が多いこと、さらには、論文指導体制の充実さや成績評価方法の適切さが評価されています。加えて、キャンパスの安全性や図書館の文献・資料・情報の充実さについても評価されています。

